補助事業名	パークゴルフ場運営事業									
補助事業者名	渡名喜村	 								
実 施 場 所	渡名喜村	渡名喜村地内								
補助事業の成果の目標	本村では、パークゴルフ場を利用することにより観光客促進、地域住民の体力増進、高齢者の生きがいの場とし新たにスポーツレクリエーションの一環として取り組んでいるところである。 本施設の施設管理事業に調整交付金を充当し、今後も安定的な施設管理事業を行うことで、本施設を安全に利用できる環境の維持を図る。 (参考指標) ・事業実施期間中の出勤日数:181日 (令和3年6月~令和4年2月)									
補助事業の内容	パークゴ	パークゴルフ場施設管理作業員2名								
補助事業の始期及び終期	令和3年度									
		令和3年度					計			
事業費及び交付金額	事業費	円 2,310,000	円	円	円	円	円 2,310,000			
	交付金額	2,079,000					2,079,000			
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況										
事業の改善措置及び今後の対応	今後もパークゴルフ場の施設管理を日々行い、施設の利用促進及び地域住民 の健康増進の一環に繋がるよう務める。									
事業の評価に際しての第 三者機関の活用の有無	なし									

補助事業名	渡名喜小学校遊具購入									
補助事業者名	渡名喜村長									
実 施 場 所	渡名喜村地内									
補助事業の成果の目標	渡名喜小学校グランドにはブランコが1基設置されているが、購入から約30年が経過し、器具の老朽化による錆やひび割れが生じているため児童の安全面の観点から早急に対応する必要がある。 また、神経系の発育において完成に近づくと言われている小学校までの間に、運動における多種多様な動作を経験させることが必要になると考える。このことから本事業を行うことにより、児童の体力、運動能力の向上及びコミュニケーションを図る場としての活用を図る。									
補助事業の内容	遊具 一式									
補助事業の始期及び終期	令和3年度									
事業費及び交付金額	令和3年度 計 事業費 円 <									
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	【補助事業の成果及び評価】 本事業を実施したことにより児童の体力、運動能力の向上及びコミュニケーションを図る場として役立てることができた。 また、教職員へアンケート調査を行ったところ、「運動能力の向上やコミュニケーションを図る場として活用されている」との回答が得られたことから、本事業の成果の目標を達成できたと評価する。 【地域住民への周知の実施状況】 本事業が特定防衛施設周辺整備調整交付金による事業である旨を下記の方法により、村民への周知を図る。 ① 村ホームページへの掲載(9月) ② 村広報誌への掲載(10月号)									
事業の改善措置及び今後の対応	今後も、当施設の維持管理を適切に行い、児童が安全かつ利用しやすい環境の保全に努める。									
事業の評価に際しての第 三者機関の活用の有無	無									

補助事業名	電気乾煤	電気乾燥機購入									
補助事業者名	渡名喜村	渡名喜村長									
実 施 場 所	渡名喜村	渡名喜村地内									
補助事業の成果の目標	本村では、5月~7月に特産品であるもちきびの収穫・精白作業を行っている。 精白作業を行うには、適当なもちきびの含有水分量まで調整する乾燥作業が必要であるが、乾燥機の台数が限られており、順番待ちが発生するなど、精白作業までに時間を要している。 また、生産農家からも精白作業まで時間を要していることから、安定的な作業ができるよう整備してほしいと要望があがっている。 このことから、本事業により電気乾燥機を購入することで、作業能力の向上により農産物の生産を安定的に行える環境を整備する。										
補助事業の内容	電気乾燉	電気乾燥機 2台									
補助事業の始期及び終期	令和3年度										
		令和3年度					計				
事業費及び交付金額	事業費	円 2,871,000	円	円	円	円	円 2,871,000				
	交付金額	2,871,000					2,871,000				
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	【補助事業の成果及び評価】 本事業により、電気乾燥機を購入したことで、作業能力の向上により、農産物の生産を安定的に行える環境を整備することができた。また、農業者へのアンケート調査の結果、作業時間の短縮及び利便性の向上が図られたとの回答が寄せられたことから、本事業の成果の目標を達成できたと評価する。 【地域住民への周知の実施状況】 以下の方法により、特定防衛施設周辺整備調整交付金による事業である旨を地域住民へ周知する。 ・村ホームページへ掲載・村広報誌へ掲載 ・本備品への記載										
事業の改善措置及び今後の対応	今後も、適切な管理を行い、農産物の生産を安定的に行える環境を維持する。										
事業の評価に際しての第 三者機関の活用の有無	無										

補助事業名	村道4号線改良工事									
補助事業者名	渡名喜	渡名喜村長								
実 施 場 所	渡名喜村呼子地区・高田地区									
補助事業の成果の目標	本道路は海沿いに面しており、台風後は大量の砂や漂流物等が車道に打ち上げられ、車両の通行に支障を来たしている状況である。 このため、本道路改良工事を行うことにより、住民が安全に利用できる環境を考慮する。									
補助事業の内容	擁壁工	擁壁工 一式 車道 L=776m								
補助事業の始期及び終期	平成25年度から令和3年度									
			平成30年度まで	令和元年度	令和2年度	令和3年度	計			
事業費及び交付金額	基金造成額	交付金額	円 339, 821, 000	円 32,414,000	円 27, 562, 000	円。	円 399, 797, 000			
		市町村費等	0	0	0	0	0			
		運用益	0	0	0	0	0			
		計	339, 821, 000	32, 414, 000	27, 562, 000	0	399, 797, 000			
	基金処分額		234, 840, 000	25, 317, 000	81, 725, 000	57, 915, 000	399, 797, 000			
		残額	104, 981, 000		57, 915, 000	0	0			
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	【補助事業の成果及び評価】 本事業を実施したことにより、車両の交通環境を改善することができ、地域住民が本道路を安全に利用できる環境が整備できた。また、地域住民へのアンケート調査の結果、安全性、景観及び排水機能等の向上が図られたとの回答が寄せられており、地域住民が安全に利用できる環境が整備できたと評価する。 【地域住民への周知の実施状況】 本事業が特定防衛施設周辺整備調整交付金による事業である旨を下記の方法により、村民へ周知する。 ・村ホームページへ掲載(6月) ・広報誌へ掲載(2月号)									
事業の改善措置及び今後 の対応	今後も定期的な巡回を行い、本道路の維持管理に努める。									
事業の評価に際しての第 三者機関の活用の有無	無									

補助事業名	環境衛生施設維持運営事業									
補助事業者名	渡名喜村	渡名喜村長								
実 施 場 所	渡名喜村	渡名喜村地内								
補助事業の成果の目標	本村内では、住民からの要望により、1日の家庭ごみの収集(月・水・金)を、午前・午後の2回収集することによって、ごみの出し忘れや、帰村した方が午後でもごみを出せる環境を整え、地域住民の生活環境の向上を図っている。このため、本事業を実施することにより、渡名喜村内の環境衛生向上に努める。 (参考指標) 事業実施期間中のごみ収集日数:255日									
補助事業の内容		ごみ処理作業員:3人 生ごみ処理作業員:1人								
補助事業の始期及び終期	令和2年	令和2年度~								
				令和3年度				計		
事業費及び交付金額	基金造成額	交付金額	円 14, 411, 000	円 0				円 14,411,000		
		市町村費等	0	0				0		
		運用益	0	0				0		
		計	14, 411, 000	0				0		
	基金如	心分額	0	6, 020, 000				6, 020, 000		
	基金残額		14, 411, 000	8, 391, 000				8, 391, 000		
	【補助事業の成果及び評価】 本事業を実施したことにより、目標である午前・午後の2回ごみ収集を行えた。 また、収集日数は253日であり、家庭内ごみを溜め込むことも少なくなり、地域住民の生活環境が向上していると評価する。									
補助事業の成果及び評価 並びに地域住民への周知 の実施状況 本事業が特定防衛施設周辺整備調整交付金による事業である旨を下記の方法により 民へ周知した。 ・村広報誌へ掲載(5月号)							こより、村			
事業の改善措置及び今後の対応	今後もごみ収集日数を正確に確認・管理することで、さらに地域住民の生活環境の向上 に繋げていく。									
事業の評価に際しての第 三者機関の活用の有無	無									